

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.226
2023.12.20

特集

第74回大学祭 翔



NANZAN
UNIVERSITY

特集

第74回 大学祭

かける

翔

NANZAN
FESTIVAL
2023

11.3(金)→5(日)

2023年11月3～5日の3日間、第74回大学祭を開催しました。今年のテーマは「翔(かける)」。大学祭に参加するすべての人が大学祭でしか経験できない事を、めいっぱい経験し、自分たちの未来へと羽ばたくきっかけにしてほしいという願いが込められています。メインストリートには35店舗の模擬店企画が並び、教室棟ではバンド演奏や作品の展示・販売等を行いました。最終日の11月5日には南山大学同窓会主催の「ホームカミングデー」も開催されました。今年は感染症対策の緩和で制限もなく、事前予約なしでの開催となり、連日大盛況の大学祭になりました。



模擬店いろいろ
メインストリートに
35店舗!



南山大学附属小学校
作品展示



yama ライブ

11月4日、4年ぶりとなるライブ企画を開催しました。今年度はyamaさんにご出演いただき、控室には、チケットの購入者から募集したイラストを掲示して歓迎しました。このライブ企画は、南山大学の活性化を目指して様々なイベントを企画しているNanzan AIDが企画、チケット販売、会場設営と撤収、運営などを行いました。また、瀧定名古屋株式会社とコラボしてオリジナルリストバンドを製作し、ライブ会場で配付しました。色とりどりのライトで照らされた体育館には、本学学生や教職員、一般販売でチケットを購入された約1,600名の観客が詰めかけ、yamaさんの迫力ある歌声に魅惑されていました。



スペシャルチアコロポ 4年ぶりのチア3団体コラボ!



応援団チアリーダー部KOALAS 代表 芹澤 美空さん(外国語学部 フランス学科3年)

応援団チアリーダー部、第66代団員として主務を務めます芹澤美空です。今年度の南山祭では、4年ぶりにチア3団体コラボを実現することができました。コロナ禍を経て初めての試みで、通常交流のない他のチアリーダーチームとの練習に戸惑うこともあり、思うように進まない難しい瞬間もありました。どのような状況であっても、スパイダースさん、ラッスルズさんが明るく活気ついた練習を提供してくださり、より良いパフォーマンスに向けて全員が積極的に向上心を持って取り組むことが出来ました。一方で、私たちコアラーズは、これまで経験したことのない高難易度の技やテンポの速い演技を前に苦戦することとなり、時折練習中にバランスを崩し落下してしまうこともありました。その度に皆が個々の課題を浮き彫りにしスキルアップすることで、徐々に技の成功率を上げていくことができました。大学祭当日は、大勢の方々を前にパフォーマンスをさせていただき、達成感と喜びを感じることが出来ました。異なるフィールドで活動するそれぞれのチームがひとつの演技を作り上げることの難しさと、各団体のプレイヤーやマネージャーさんと連携し、コミュニケーションを図ることの重要性を学ぶことができました。来年の大学祭は私達3年生は参加しませんが、今年同様チア3団体のコラボパフォーマンスが出来たら、大変光栄に思います。

第74回大学祭 学生の声

大学祭運営委員会委員長 阿部 和さん(理工学部 ソフトウェア工学科3年)



第74回南山大学大学祭の大学祭運営委員会委員長を務めました阿部和です。今年度の大学祭はコロナによる縛りをほとんど受けず、大規模な大学祭を開催することができました。去年度の大学祭よりも企画時間を伸ばし、企画数を増やして様々なイベントも開催され、来場者の方にもたくさんお越し下さったおかげでとても活気で満ち溢れる場所になったと思います。この大学祭を成功させるために協力してくれたすべての方々に心から感謝申し上げます。委員会のメンバー、協力団体様、そして来場者の皆さんの熱意と努力によって、この祭りは多く人の思い出を作り出し、大きな成功を収めることができました。皆様の支援と協力がなければ、ここまで成功はあり得ませんでした。皆様のおかげで、私たちは素晴らしいイベントを共有し、絆を深めることができました。私自身も3年間大学祭運営委員会を通して、大きなイベントを成功させる難しさ、共に大学祭を作り上げる委員会のメンバーとの絆の大切さ、そして委員長としての責任など様々な貴重な経験をしました。私にとって大学祭運営委員会はかけがえないものになりました。仲間と共に最後までやり遂げられてよかったと心から思います。最後に、今年度の大学祭は大成功を成し遂げました。来年度の大学祭もより良いものにするために、皆さんからのフィードバックやアイデアを積極的に受け入れ、実行していくつもりです。再度、この素晴らしい経験を共有できることを楽しみにしています。ありがとうございました。

2023.8.25

総合政策学部秋学期入学者卒業式

8月25日、フラッテンホールにて総合政策学部秋学期入学者卒業式を行いました。式典の様子はZoomでも配信され、保護者や後輩たちが見送る中6名の学生が卒業しました。



2023.9.15

2023年度9月卒業式

9月15日、フラッテンホールにて2023年度9月卒業式を行いました。指導司祭による祈りと聖書朗読の後、各学部および研究科代表者に学位記が授与され、57名が卒業しました。



2023.9.15

2023年度秋学期入学式

9月15日、フラッテンホールにて2023年度秋学期入学式を行い、学部生、大学院生、外国人留学生別科生合わせて180名が入学し、華やかな式典となりました。



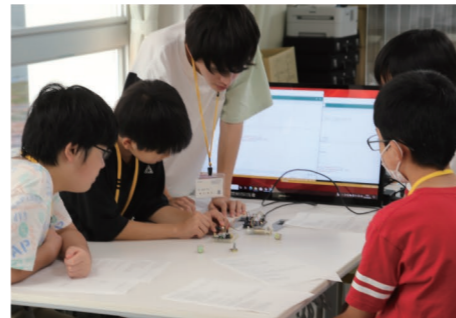
2023.8.28-8.31

小中学生向け講座「大学で、未来の自分を探してみよう！」

8月28日、29日、31日に、南山大学の知的財産を地域に還元することを目的として、小学生(4~6年生)・中学生を対象とした7講座を開講しました。
小学生(4~6年生)対象講座は、「考古学者になりきろう!—縄文土器を研究する」「留学生や南山生と楽しく多文化交流しよう!」「民事裁判を体験しよう」の3講座で合わせて75名が参加。
中学生対象講座は、「触って楽しむ博物館—人類学博物館の楽しみ方」「国際・多文化交流とは?—体験からスキルを学ぼう」「ロボット・モーター制御の仕組みを知ろう」「民事裁判を体験しよう」の4講座で合わせて91名が参加し、各々の講座で楽しく学んでいました。



▲民事裁判を体験



▲ロボットの仕組みを学ぶ

2023.9.30

保護者の集い

9月30日に、南山大学と南山大学後援会の共催で、第51回南山大学「保護者の集い」を開催しました。今年度は、多くの保護者の皆様にキャンパスにお招きすることができ、現地参加とオンライン参加のハイブリッドで実施しました。
第1部の全体会では、キサラ学長と柴田後援会理事長のご挨拶の後、本学の学生生活、進路支援、2022年度及び2023年度の就職状況、国際教育について本学教員より説明しました。
第2部の後援会企画では、「コロナ後はどうなる、就活最前線!」と題し、企業人事担当者と内々定者によるパネルディスカッションを行いました。



▲全体集いに参加する保護者の皆様



▲学部・学科懇談会場



▲就職相談の受付



▲博物館を見学する保護者の皆様

2023.10.2-10.6

秋のフレッシュマン祭

10月2~6日、秋のフレッシュマン祭を開催しました。新型コロナウイルス感染症に対する規制の緩和もあり、新入部員のさらなる獲得を目標として、体育会所属9団体、文化会所属3団体、その他26団体の計38団体がキャンパス内でチラシの配布やポスター掲示を行いました。



▲受取ったチラシを見る学生



▲チラシを配る学生

2023.10.7

第57回野外宗教劇「受難」

10月7日に、パッセスクエアで第57回野外宗教劇「受難」の公演を行いました。「受難」は南山大学を代表する伝統行事で、イエス・キリストの受難を大学公認の課外活動団体「野外宗教劇」部員の学生たちが演じる野外劇です。
基本的な筋をたどるストーリーにも毎年新たな解釈が加えられており、そこも見どころのひとつとなっています。当日は迫真の演技が次々に繰り広げられ、今年も盛況のうちに幕を閉じました。



2023.10.18

南山大学附属小学校1年生校外学習

10月18日、南山大学附属小学校1年生の校外学習が南山大学で行われました。学校外での体験を共有することで、クラスや学年の仲間との心の繋がりを深めることを目的として実施されました。小学生たちはオリエンテーションでチェックポイントを回り、普段入ることのない大学での体験学習を楽しんでいました。また、留学生に英語で質問をしたり、大学生にインタビューしたり、グリーンエリアやメインストリートを中心に、にぎやかな声が聞こえてきました。



▲大学内を見学する小学生



▲ログセンターでお祈りをする小学生

2023.10.19

経済学部において、東洋証券株式会社、ヌビーン・ジャパン株式会社による講演会を開催

10月19日、経済学部経済学科(数量経済史B、担当:川本真哉教授)において、東洋証券株式会社取締役・櫻井歩氏、同ウェルスマネジメント部長・松枝広美氏、ヌビーン・ジャパン株式会社代表取締役社長・鈴木康之氏を招待し、「資産運用の歴史と現状」を統一テーマに講演会を行いました。
東洋証券は中国地域を軸に全国展開する証券会社、ヌビーンは米国教職員退職年金/保険組合の資産運用部門であり、120年以上の歴史を持つ世界有数の運用会社です。櫻井講師、松枝講師からは、株価の長期推移、投資商品の内容、金融リテラシーについて、鈴木講師からは、国内外のオルタナティブ投資の動向、ESG投資の取り組み状況についての丁寧な解説がありました。解説後にはディスカッションがあり、参加学生からは、リスクの捉え方についての質問がありました。また、学生

からは「投資の多様性について把握できた」という感想がありました。



▲講演会の様子

2023.10.28

受験生と保護者のための入試説明会

10月28日に、一般入試、全学統一入試、共通テスト利用入試の受験を検討している受験生を対象とした入試説明会「受験生と保護者のための入試説明会」を実施しました。
今年は一部企画を対面とオンラインで同時開催とし、対面開催では931名、オンライン開催では356名の方にご参加いただけました。

2023.11.2-11.4

スポーツイベント

11月2~4日に、本学スポーツサービスマン(SSR)主催のスポーツイベントを開催しました。
第30回となる今年度は、リモートウォーキング&ランニング、対面開催のスポーツ(バスケットボール、バレーボール、バドミントン)に約250名の学生や教職員のエントリーがあり、大いに盛り上がりました。



2023.11.2-11.5

久しぶりの訪韓—韓南大学校法学部(韓国)との学術交流会

コロナ禍を経て、昨年から再開した南山大学法学部・法科大学院と韓国・大田市にある韓南大学校法学部による学術交流会が、11月2日から11月5日にかけて韓南大学にて開催されました。日本側からは教員4名、学生9名が参加しました。韓国での開催は2019年以降のこととなりますので4年ぶりです。今年の学術セミナーのテーマは「日韓法曹実務の現況と展望」でした。日韓の裁判制度の違いなどについておおいに学びました。また、懇親会や自由時間には、韓国語、英語、日本語を駆使しながら、韓南大学法学部の学生ら30名ほどと交流し親交を深めました。



▲学術交流会の様子



▲学術交流会参加の皆様

経済学部経済学科の学生が「第23回 全国学生対抗円・ドルダービー」で「ユニーク賞」と「もう一步賞」を受賞

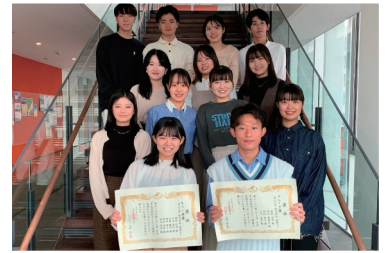
日本経済新聞社主催の「第23回 全国学生対抗円・ドルダービー」で、経済学部経済学科稲垣ゼミ3年生の青野光希さん率いるチームが最優秀賞にあたる「ユニーク賞」、服部月詩さん率いるチームが「もう一步賞」を受賞しました。

「全国学生対抗円・ドルダービー」は、6月末と7月末の東京外国為替市場の円・ドル相場をチーム対抗で予想し、予想の近さを競うものです。1～2カ月先の為替相

場を議論し、経済や国際情勢に視野を広げ、仲間同士のつながりを深めながら予想を立てていきます。

賞を獲得した5チーム中2チームが稲垣ゼミの学生でした。この全国トップの実績は、4年連続となります。

受賞した青野さんのチームは、産業用ロボットの普及状況に着目しました。服部さんのチームは、知財戦略の為替相場に与える影響を分析しました。



▲稲垣ゼミの皆さん

藤女子大学との連携および協力に関する包括協定調印式

10月5日、藤女子大学(札幌市)と連携および協力に関する包括協定を締結しました。

調印式の司会は本学卒業生でフリーアナウンサーの佐藤麻美さんをお願いし、和やかな雰囲気です式が進行しました。本学のキサラ学長と藤女子大学のマルクス学長は、協定書にサインした後、かたい握手を交わしました。

この包括協定は、両大学の特性を活かし、キリスト教カトリック精神に基づく教育・研究の充実と発展お

よび社会への貢献を通して、日本のカトリック教育の使命達成に寄与することを目的としています。

具体的連携事項

1	学生(大学院生、留学生を含む)および教職員の相互交流
2	授業科目の相互提供
3	教育・研究に関する学術交流と情報提供
4	国際化推進に関する相互協力と情報交換
5	大学運営に関する情報交換



▲左:ハンス ユーゲン・マルクス学長
右:ロバート・キサラ学長

総合政策学部の学生が「統計データ分析コンペティション2023」で総務大臣賞を受賞

「統計データ分析コンペティション2023」で、総合政策学部水落ゼミの学生が大学生・一般の部で最優秀賞にあたる総務大臣賞を受賞しました。

「統計データ分析コンペティション」は、高校生、大学生等の統計の有用性への理解と統計データの利活用拡大のため、総務省、独立行政法人統計センター、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計

数理研究所及び一般財団法人日本統計協会の共催により、平成30年度から実施されています。

4人1組で参加したチームは「小中学生の不登校率における環境要因分析」と題した実証論文を執筆し、受賞しました。12月6日(水)には東京で開かれた全国統計大会で表彰式が行われました。また、日本統計協会の月刊誌『統計』に論文が掲載されます。



▲左から:藤井さん、山下さん、廣野さん、吉本さん

陸上競技部の学生が、創部73年にして初の全日本大学駅伝対校選手権出走

11月5日に開催された第55回全日本大学駅伝対校選手権(熱田神宮～伊勢神宮間)の東海学連選抜選手に、陸上競技部に所属する国際教養学部4年橋本平良さんが選出され、第4区(四日市～鈴鹿間、11.8km)に出走しました。

9月30日に行われた選考レース(10,000m)にお

いて、昨年のベストタイム(南山大学新記録)を12秒縮め、自己ベストを更新し7位になったことで、東海学連選抜選手に選出されました。

11月とは思えない暑さの中を力走り、区間20位以内に入るという目標を達成することができました。



▲橋本平良さん

南山大学同窓会より寄附目録贈呈

南山大学同窓会より、アルムナイガーデン(芝生広場)整備のためのご寄附を頂きました。南山大学ライネルス中央図書館前に整備されたアルムナイガーデンは、学生や教職員の憩いの場になっています。11月5日に開催された南山大学同窓会設立70周年記念式典において、キサラ学長が松岳同窓会長より目録を受け取りました。



▲目録授与式の様子



▲アルムナイガーデン(芝生広場)

私の研究



福本 拓(ふくもと たく)
 人文学部 日本文化学科 准教授
 専攻分野: 人文地理学, 多文化共生論
 研究テーマ: 日本におけるエスニック集住地区の歴史的形成過程とその現代的諸相
 主な担当科目等: 日本文化学入門, 地域文化論, 日本民俗文化論

コリアタウンに見る都市のバイタリティ

文化のダイナミクスを考える上で、人・モノ・資本の結節点である都市は格好の舞台です。ただ、日本の都市については、国際的な移住者に由来する文化の多様性にはあまり関心が持たれてきませんでした。私は、在日朝鮮人と呼ばれる人々の集住地区に焦点を当て、大阪を事例とする研究を続けてきました。

昨年、東京・新宿や大阪・生野のコリアタウンには多くの人々が観光に訪れています。しかし、特に大阪に関しては、こうした景観が現出したのはここ20数年のことです。かつては日本社会からの差別や朝鮮半島の政治的対立の下で、むしろ明瞭なエスニック・バイタリティの表出は抑制されてきました。一方、そうした苦しい生活の中、エスニック・ネットワークが特定の

分野での起業を可能にし、日本を代表する産業になった事例もあります。

集住地域での文化の混淆の主体は、在日朝鮮人の2世・3世、新たに韓国から渡来した人々、そして日本人観光客など様々で、時代によっても変わります。常に変化する集住地区の様相は、都市に備わるバイタリティの存在を感じさせます(詳細は拙著『大阪のエスニック・バイタリティ—近現代・在日朝鮮人の社会地理』京都大学学術出版会、2022年、をご参照ください)。おそらく、この地域は今後も予期せぬ変化を遂げていくでしょう。それをキャッチし、望ましい共生や都市のありようを構想することが、当面の目標です。



著書の表紙



私のクラス



鈴木 史己(すずき ふみき)
 外国語学部 アジア学科 准教授
 専攻分野: 中国語学
 研究テーマ: 現代方言と史的文献を統合した中国語史研究
 主な担当科目等: 中国語科目、中国語学研究、中国語科指導法

中国語のしくみとは

私は主に中国語の授業を担当しています。中国語を初めて学習する場合は、発音の基礎から始めます。中国語は、「声調」と呼ばれる、音楽のメロディのような高低上下の調子をもっています。授業では、日本語との違いを意識しつつ、自分の口の中の動きや発音のしくみに気づけるような指導を心がけています。

初学者の1年目の目標は、名前、家族構成、趣味、買い物など、身の回りのことを表現できるようになることです。中国語表現を学習する際には、実際に使う場面を想定した練習を取り入れるようにしています。中国語そのものだけでなく、その背景に

ある習慣や文化にふれる機会もできるだけたくさんもってほしいと考えています。

専門科目の「中国語学研究」では、自身の研究テーマである方言と歴史との関係を意識して進めています。中国語は地域差が大きく、方言地図から歴史的变化を読み取る分析方法(言語地理学)を折にふれて紹介しています。たとえば「じゃがいも」は、日本でも知られる「馬鈴薯」は南方的で、標準語では北方で新たに生まれた「土豆」を主に使います。ふだん学習している中国語にも、方言の影響や歴史的变化の痕跡が残っているのです。

授業をととして、今使われている中国語の中に見え隠れする言語的・文化的な背景やしくみに気づいてほしい、そして中国語の面白さを知ってほしいと願っています。



INTERNATIONAL FRIENDSHIP

ASEACCU (東南・東アジアカトリック大学連盟) 学生会議に参加して

期間: 2023年8月21日~8月26日
 場所: Saint Louis University (フィリピン・バギオ市)
 参加者: 井野靖子さん(外国語学部英米学科2年)
 奥田昇さん(人文学部心理人間学科2年)

井野靖子さん感想

今回のASEACCU学生会議は、新たな出会い、フィリピン文化の体験、カトリックと気候変動について学びと、多くのことを吸収できた5日間でした。会議では、気候変動とラウダート・シについて学びました。世界で起きている様々な気候変動の問題を自分事として捉え、私たちの家である地球を守ろうという考えがラウダート・シの根底にあると気づきました。また、講義の中で堂々と自分の意見を話すメンバーたちから多くの刺激を受けました。さらに考えを深め、私も彼らのようになりたいと、今後の自分の課題も見つけることができました。アジアとオセアニアの国々から集まった学生や教授との交流もかけがえのない思い出です。一緒に初めて経験するフィリピン文化を楽しみ、自分自身や国のことを語り合いました。今でも頻りに写真を見返しては、皆に会いたいと強く思います。素敵な出会いと新たな考えを与えてくれたこの貴重な機会に心から感謝します。

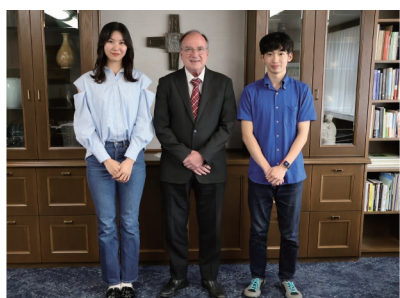
奥田昇さん感想

ASEACCU学生会議では、世界が直面する環境問題について議論を重ねると共に、地球を取り巻くいくつもの環境問題に対し我々ひとりひとりに何ができるかを考えさせられるものでありました。他大学の教授の講義や志高い同年代の仲間たちとの議論を通して、将来を担う若い世代である私たちがYouth Innovationを進めていく必要があると強く感じています。より多くの若者が環境や国際協力の活動に参加する、きっかけを作りたいです。また本プログラムを通じて環境問題に対する意識が高まったと同時に、言語や文化を異にする学生たちと国を越えて対話する面白さを発見しました。そこで出会った彼らとは毎日ビデオ電話を通じて連絡を取り合っています。このような素敵な経験をさせていただけただけを心から感謝します。

ASEACCU実施内容

ASEACCU[®]には、タイ・台湾・フィリピン・韓国・日本・インドネシア・インド・香港等のカトリック系大学が加盟しており、1994年以降国際学生会議(Student Conference)が開催されています。この学生会議は、アジアの学生たちが互いの文化や社会を踏まえて共に語り合い、相互理解を深めるもので、今年は8月21日から8月26日にフィリピンのバギオ市にあるSaint Louis Universityで開催され、9カ国から72名の学生が参加しました。今年は“Global

Goals in the Care of Our Common Home:A Catholic Response”をテーマに、学生同士のプレゼンテーションやディスカッションの発表を行い、アジアの若い世代が直面するこれからの課題についてカトリックの視点から理解を深めました。



▲学長表敬訪問(左:井野靖子さん、右:奥田昇さん)

※ASEACCU: The Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities

Special Events Schedule

2024.3.20

2023年度 南山大学卒業式

開催日時：2024年3月20日(水) 第1部 午後1時より 第2部 午後3時15分より

内 訳：【第1部】 外国語学部、法学部、理工学部、国際教養学部、国際地域文化研究科、法学研究科、理工学研究科、法務研究科
【第2部】 人文学部、経済学部、経営学部、総合政策学部、人間文化研究科、社会科学研究科、ビジネス研究科

問合せ先：総務課 (Phone:052-832-3112)

Information

■ 2024年度学生納付金改定について

2024年度南山大学学生納付金について、2023年3月24日開催の学園理事会において以下の通りとすることを決定しました。

◎学部学生(2020年度以前入学生)

理工学部を除く学部については、授業料を現行の718,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。

理工学部については、授業料を現行の818,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。

◎学部学生(2021年度以降入学生)

理工学部を除く学部については、授業料を現行の750,000円に据え置くとともに、教育充実費を現行の240,000円に据え置く。外国語学部英米学科LL実習費は、1年次生および2年次生は現行の18,000円に、3年次生および4年次生は現行の9,000円に据え置く。

理工学部については、授業料を現行の750,000円に据え置くとともに、教育充実費を現行の340,000円に据え置く。

◎大学院学生

理工学研究科および法務研究科を除く研究科については、授業料を574,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。法務研究科については、授業料を1,000,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の200,000円に据え置く。

理工学研究科については、授業料を654,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。

【2024年度学生納付金徴収(引落)日】

・春学期(第1・第2クォーター分) 2024年4月12日(金)

・秋学期(第3・第4クォーター分) 2024年9月27日(金)

各学期の公示、および学納金通知はがきにてご案内いたしますので、ご確認ください。

■ 寄附者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

小田 茂樹様 匿名ご希望者 1名様
南山大学同窓会 会長 松岳 大樹様

「新型コロナ対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

匿名ご希望者 2名様

「南山大学博士後期課程奨学支援募金」へのご協力に感謝いたします。

匿名ご希望者 3名様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

和多田亮様
青山 寿様
石黒泰成様
岩瀬次郎様
中野 絢子様
鈴木孝子様
栗本敏雄様
中村 正様
西村淳子様
山内義之様
青木洋一様

山田 重人様
島 圭子様
安藤勝廣様
松田典子様
味岡源太郎様
河野勝慶様
五十嵐眞弓様
大村博之様
平内敦子様
鶴飼幹人様
池田利恵子様

市岡重明様
太田麻起野様
武市直子様
柴田和江様
山田素子様
伊藤則男様
足立典子様
川端久志様
阿部恵美子様
片山喜之様
武藤正行様

村上篤太郎様
三品雅義様
山本睦美様
日比野常二様
中島経年様
稲澤由以様
榎葉道尚様
下出啓介様
戸谷克昌様
山田敏夫様
浅田 弘様

南山大学同窓会
会長 松岳 大樹様

匿名ご希望者
32名様

■ 新任教員紹介

2023年10月1日付

●国際センター 特別任用講師 藤掛千絵
(専攻分野:国際教育、経営学)

■ 退職

2023年9月9日付

●法学部 教授 伊藤 司

■ 本学法学部教授 伊藤 司氏 がご逝去

本学法学部教授の伊藤 司氏(58歳)が、2023年9月9日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

■ 本学名誉教授 枝村 茂氏が ご逝去

本学名誉教授の枝村 茂氏(91歳)が、2023年9月22日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

南山大学を舞台にした
青春オリジナルドラマ
「Link!」配信中



本学では、学生の活動などをWebページ「南山Today」、
Instagram、Facebookでも紹介しています。ぜひご覧ください。

南山Today



Instagram



Facebook



南山大学

発行 広報・募金課 / 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail: pr-gaku@nanzan-u.ac.jp https://www.nanzan-u.ac.jp/